

(通算) 第 10 回名桜大学高大接続勉強会報告書

(テーマ) 名桜大学の初年次教育について

2023 年度第 2 回 (通算第 10 回) 名桜大学高大接続勉強会は、2023 年 11 月 27 日(月)に本学学生会館 SAKURAU 6 階スカイホール A において開催しました。今回も、北部地区所在の高校、すなわち、辺士名高等学校、北山高等学校、本部高等学校、北部農林高等学校、名護商工高等学校、名護高等学校、宜野座高等学校の 7 高等学校の進路指導担当教諭にご参加いただきました。本学からは、木村堅一副学長はじめ、教養演習担当者の教員、リベラルアーツ教員及び発表の学生を含め、38 名の参加がありました。

今回は、テーマを「名桜大学の初年次教育について」として、名桜大学における初年次教育の取り組みについて、実際の授業内容および学生たちの成果物を通して、高等学校から大学の学び方の変化や主体的な学びへの理解を深めて頂くことをねらいとしました。

佐久本功達リベラルアーツ機構長の開会のあいさつでは、勉強会の趣旨説明が行われ、初年次教育「教養演習」と「入学前学習および入学前特別講座 I・II」について取り上げることが説明されました。

前半は、初年次教育「教養演習」については、教養演習統括の小川寿美子教授より、「教養演習 I・II」の本学教養教育科目群における位置づけ、授業概要説明、授業運営について説明があり、その後、国際学群、スポーツ健康学科、看護学科の 2 年次代表学生による令和 4 年度の教養演習 I・II の成果発表がありました。

テーマは、1. 「日本の LGBT 世界と比べた日本の LGBT の取り組み」(国際学群)、2. 「沖縄県民の方言離れ」(国際学群)、3. 「私たちの知らない世界～あの世は科学的根拠を用いて証明できるのか～」(スポーツ健康学科)、4. 「自分と向き合ってみませんか」(看護学科) の 4 つのグループが当時のチームで発表を行いました。

引き続き、この発表を受けて、教養演習副統括の平上久美子教授がファシリテートを務め、発表学生と北部地区 7 校からの進路指導教諭との間で活発な質疑応答が行われました。



写真 1. 小川寿美子教授による講話



写真 2. 学生発表の様子



写真 3. 質疑応答の様子

勉強会後半は、高安美智子北部地区教育担当学長補佐より、「入学前学習 (e-ラーニング) 実施状況」「新入生学力調査と GPS - Academic 調査」「新入生学力調査と GPA 平均 (大学の成績)」「入学前特別講座 I・II について」の説明と報告がありました。調査結果から、入学前学習 (e-ラーニング) の取組状況と、GPS -

Academic 調査の提出状況によって、入学後の成績（GPA 平均）に関係が見られるという報告がありました。そこで、入学前学習の取組について、高校と大学が連携して目標達成への声掛けをしようという協力依頼がありました。

最後に、司会を務めた山城智史リベラルアーツ副機構より閉会のあいさつがあり、大学の教員にとっても、初年次教育の趣旨を理解する上で貴重な報告会となり有意義な時間を共有する勉強会となりましたと締めくくりました。

参加高等学校教員からの事後アンケートの内容から「1. 学生の活動報告及び情報交換の中で、特に印象深かったこと」という問いに対して、「高校での探究活動にどう繋げていか考えることができた。」「学生からの回答が素晴らしかった。」など好印象の回答が多くありました。一方で「問が明確ではなく、学びのプロセスが深まったか不明な部分があり、もったいない」との指摘もありました。また、「高校の探究に大学生がチューターとして入る交流もできたら良いと感じた」との意見も頂きました。さらに、「3. 今後の高大接続勉強会で取り上げて欲しいテーマや開催方法について」に対しては、「英語教育の現状と課題などについてのテーマなどいかがでしょうか」との要望がありました。表 1 に「参加高等学校教員からの事後アンケート内容」をまとめて掲載します。

高大接続を実質化するためには、高校教育と大学教育の相互理解に基づく一体的な教育改革が必要不可欠です。今回の勉強会では、本学の初年次教育「教養演習」と「入学前学習および入学前特別講座 I・II」の内容について、進路指導の先生方が高校での進路指導に活かすとともに、高大接続の実質化に向けた試みとしました。

本勉強会が、北部地区の高等学校と本学の相互理解の場として、本学と北部地区の高等学校との高大接続の、着実・確実な積み重ねになっていくことを期待しています。



写真 4：全体会の様子

表 1. 参加高等学校教員からの事後アンケート内容

1. 学生の活動報告及び情報交換の中で、特に印象深かったこと
・教養演習について、概要と発表が見れてので、これを参考に、高校での探究活動にどう繋げていか考えることができた。
・エビデンスレベル、テーマ設定のために視野をひろげる、予習復習など事前学習の大切さなど、学生の皆さんから聞いたことが素晴らしいと思いました。
・学生発表が興味深いテーマであったこと。
・教養演習 I・II の学生プレゼンテーションと質疑応答時の学生からの回答が素晴らしかったです。
・入学前学習や新入生学力調査と GPA の関係について。正の相関はあるが、因果関係はまだわからないとのことなのですが、調査結果から GPA が低くなりそうな生徒に何かしらの対策をうると良いですね。
・学生たちが「答えのない問い」に自分たちの答えを出そうと懸命に取り組んだ形が見えたこと
・主体的に問いを立て、情報を分析し発表していること ただし、問が明確ではなく、学びのプロセスが深まったか不明な部分があり、もったいないと感じました。

・私たちの知らない世界、自分と向き合ってみませんか
・私たちに知らない世界
・教養演習の発表を、授業ばかりでなく時間外でもコミュニケーションとってやっていることに感激を覚えました。自由なテーマ設定もいいと思います。答えのないことや、検証できないテーマについて学生なりに調べ・発表していて拝聴して楽しかったです。
2. 今回の高大接続勉強会について
・学生の活動している様子が見れてよかった。また、高校の探究に大学生がチューターとして入る交流もできたら良いと感じた。
・eラーニングの現状と課題が知れてよかったです。
・リベラルアーツ教育の取り組みやその重要性について再認識できた。
・学生を交えた勉強会は本学の教育結果を共有し易いと改めて実感いたしました。
・生徒の取り組みの成果物を見ることができたのが良かった。
・いつも大変勉強になっています
・お疲れ様でした。もっと高校の先生方の事例を聞ける仕組みがあると嬉しい。どなたかにお願いできないでしょうか？
・お忙しい中、このような機会を実施していただきありがとうございました。進路指導につながる貴重時間でした。また、高大連携が持続的な学生を育てる環境だと感じました。
・入学前学習の現状と課題について情報を提供くださったことは良かったと思います。
3. 今後の高大接続勉強会で取り上げて欲しいテーマや開催方法について
・貴重な機会を設けていただきありがとうございます。今後ともよろしく願います。
・出身校別の大学卒業後の進路状況等
・英語教育の現状と課題などについてのテーマなどいかがでしょうか。
・一般教養の授業で、どれくらいまで深くアカデミックな内容を扱うのかを知りたいです。
・高校の進路担当職員は2～3年では交代するので、過去のテーマと同じでも良いと思います。各校とも卒業生のがんばりや状況が聞きたいのではないかと思います。
・高校でのライティング力養成に向けた課題を伺いたいです。
・大学の講義と高校の授業で、連携できる内容を模索できる機会があれば良いと感じました。
・特にありません。大学にお任せします。
・キャリア教育の方法、就職活動をどのように支援しているのかを知りたいです。

2023年12月25日

(文責) リベラルアーツ機構長 佐久本 功達